

区議会だより

Report

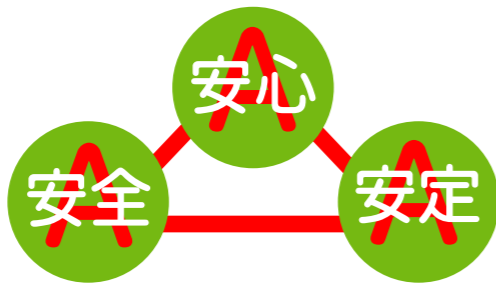
徳永まさひろ

2010.3.31

発行：区議会民主クラブ
江東区東陽4-11-28
TEL/FAX.03-3648-2117



三世代共生の まちづくり



トリプルAの人にやさしい江東区へ

<http://www.tokusankai.com> E-mail masahiro@tokusankai.com

子育てにおいては、認可・認定保育園の積極的な整備による待機児童の解消、教育においては、放課後子ども教室(げんきつづ)と児童クラブを連携・一体化した「江東きつづクラブ」の開始、高齢者福祉においては

2月24日から3月31日まで、平成22年江東区議会第1回定例会が開催されました。

3月2日から8日までは、予算審査特別委員会で平成22年度の当初予算の審議が活発に行われ、30日の本会議において、一般会計と4特別会計を合わせて、2284億3100万円、前年度比2.6%増の予算が成立しました。

今回の予算の特徴は、一昨年のリーマンショック以来、景気の低迷から法人税収が落ち込み、本区の貴重な財源でもある東京都からの特別区交付金が、前年度比7.5%減、約36億3800万円の落ち込みの中、財政調整基金を有効に使い、子育て・教育・高齢者福祉の3世代にわたる「人」に対する支援策を低下させないよう努力したところにあります。

区民生活者重視の 平成22年度予算成立

後援会だより

毎月第3土曜日に朝8時より朝食会を行っています。場所は亀戸1-8-11、二見ビル2Fフェアリースです。会費1000円。次回は4月17日です。お時間のある方はふるってご参加ください。

○今年の旅行会は、9月26日(日)27日(月)を予定しています。詳細は後日決まりしだいご連絡いたします。

○今年の徳山会「ルフコン」は、7月の参議院選挙のため延期することになりました。

○次回の区政報告会は、5月中旬を予定しています。

○今年の11月中旬に後援会総会を開きたいと考えています。その節は宜しくお願いします。

○7月の参議院選挙におきましては、ご支援のほど宜しくお願いいたします。マニフェストができれば、(ご)報告します。

後援会入会のご案内

後援会活動を拡充するため、年間一口2千円の会費で会員を募集しています。ご協力のほど宜しくお願い致します。会員の

Profile

- 昭和36年7月2日兵庫県生まれ
- 昭和60年より都議会議員秘書、参議院議員公設第一秘書、衆議院議員あずま祥三公設第一秘書を経て現職(2期目)。
- 所属委員会：厚生委員会委員長/防災まちづくり対策特別委員会委員/議会運営委員会委員
- 民主党江東区総支部副会長/江東区立立中学校PTA連合会副会長/江東区立第三亀戸中学校PTA会長/NPO法人日本子守唄協会理事

編集後記

皆様には、イベント情報や年4回の機関誌をお届けいたします。ご連絡は(090)3516-8344まで。

つい先日、政権交代の衆議院議員選挙があったかと思えば、この夏にはもう、参議院議員選挙が待っているそうです。

政治家のみなさんは、日々は戦場とおっしゃるそうですが、まさに毎年のように選挙はやってきます。徳さんも休む暇がなさそうです。

今は桜の咲く季節ですが、民主党が夏にもう一花咲かせるのか、それとも自民党が返り咲くのか、それとも新種の花が?暑い夏を楽しみに待ちましょ。

区内初の小規模多機能型居宅介護施設の整備や地域包括支援センターの増設など、多岐にわたって生活者の視点に立った施策を展開しています。

また産業と観光の分野では、区内の中小企業の経営支援のための借換資金の創設や景気対策資金の期間延長、また亀戸を核とした「ト」商店街や観光拠点の整備による観光振興の推進をはかり、本区の商工業の発展に寄与する施策を積極的展開しています。

鳩山政権の予算編成方針にもある、「コンパクトから人」への視点は、まさしく生活者が身近に必要な行政サービスをどうやって展開していくかにあります。地域主権の地方自治の在り方が問われている本年は、本区の間10年のまちづくりのスタートである22年度の予算は、きわめて重要な審議となりました。

私としては、昨年から導入された包括監査制度も十分に機能させながら行政の監視機能を保ちつつ、区民が必要とする条例を行政側にとしとし提案していきたいと考えています。

徳永まさひろ

トピックス

★区内13番目の 特別養護老人ホーム 「カメラア」が開設



2月22日(月)、区内で13番目になる特別養護老人ホーム「カメラア」の竣工披露式典に参加してきました。現地は亀島小学校の跡地に建設され、先に整備された老人保健施設「キーストン」と母子生活支援施設と並び、すべての施設が完成しました。

またご当地には、3千㎡の公園施設があり、開放的に作られた3施設と一体となり、地域の人々が施設と違和感なく共生できるスペースになっています。

これからの少子高齢化社会において、今回のような開放的な老人福祉施設の整備によって、地域福祉の向上が図れるものと思われれます。

また本区の長期計画では、14番目の特別養護老人ホームが3大小の跡地に、また7番目の老人保健施設も建設の予定があり、今後の高齢者福祉の向上が見込まれています。

★千田保育園が開園

本区の喫緊の課題である待機児解消を図るために、本区では今後平成26年までに認可保育所12園、認証保育所40施設を新たに整備する予定になっています。その中のポイントが多様な保育サービスの提供です。

4月から開園される千田保育園は、2時間延長保育やスポット延長保育、障害児保育、緊急一時保育など、また在宅で育児をする保護者が通院や短期就労等の際に利用できる「非定型一時保育」も実施します。

長期計画では、平成26年度まで認可保育所・認証保育所合わせて、新規整備を52園整備する予定です。しかし大事なことは保育のレベルを決して下げることなく整備することです。